

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況（振り返り）」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	・ヒヤリハットや小事故が頻発している ・同じ利用者の事故が多い	・事故発生を予測し同じ事故を回避する	①事故発生予測評価(アセスメント)を行い生活の見守り重視 ②事故報告書を基に職員間で話し合う ③生活環境の見直し	3ヶ月
2	23	・ゆったりとした雰囲気が作れない	・個別に生活の支援をしていく「パーソンセンタードケア」へ	①生活場面からきめ細かく情報を収集し具体的に本人の意向を尊重したアセスメント ②利用者の有する機能を最大限に発揮できる関わりが持てるケアプランの作成 ③個々の役割作り	3ヶ月
3	27	・QOL会議でケアプランの内容を確認しているが、作成後すぐに目を通す事が少なく詳細まで把握していない	・ケアプランを意識して業務に就き、ケアの統一を図る	①計画作成担当者はプラン作成後、職員に報告し周知を徹底する ②モニタリングシートの活用	3ヶ月
4	48	・個別のレク活動がなかなか行えていない	・余暇活動の充実	①団体のレク活動の中でも個人に合わせて行えるよう内容を充実する ②趣味や得意な事など情報収集し、充実した余暇を過ごせるよう援助	3ヶ月
5	66	・職員の連携ができていない	・職場での人間関係を良くする	①相手を信頼する ②積極的に協力する ③感情的にならない	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。